

兵庫県地域創生戦略(2015-2019年度)の概要【平成28年3月改定】

2060の兵庫の姿(社会像・人口規模・経済状況)

1 個性ある多様な地域の中で心豊かな暮らしが実現する兵庫

- ・心豊かな暮らしを実現。
- ・国内外を往来する人・情報・もの・資金の創発・発信拠点に
- ・五国ならではのオンライン・ワーカーの魅力が国内外の人々を呼び込む。
- ・世界の課題解決に貢献する人材の交流

2 医療、防災、多彩な歴史・文化の蓄積、教育力等に支えられた世界トップレベルの生活環境が確保され社会安心の兵庫

- ・先進医療体制による健康新寿と健康・看護による暮らし
- ・見守りや充実した介護・施設による防災意識
- ・世界と連携の精神による質の高い芸術文化を創出
- ・歴史と進取の精神で兵庫から内外に羽ばたく
- ・兵庫ならではの先端産業が世界で活躍
- ・地域産業が高い技術やブランド力で地域経済を活性化
- ・農林水産業が発展し、兵庫が平成の御食国として人気を博する
- ・豊かな自然環境や環境に優しい安定的なエネルギーを確保
- ・高度で多彩な教育環境で兵庫から全国へ選抜
- ・兵庫の知的蓄積の地域へ還元

地域創生の考え方

① 2060年の兵庫の姿を見据え、2020年まで(2015-2019年度)の5年間の目標・施策を定める。

- 兵庫の多様なボテンシャルや多様な地域特性など“兵庫の強み”を活かし、全県一律ではなく各地域の個性に応じた重点的な施策展開をする。
- 個性が異なる各地域が、①機能を分担し互いに補完する、②目標を共有し共に進むよう、「多様性と連携」を基本に取り組む。

多様なボテンシャル

- 阪神・淡路大震災を経験した地としての安心・安全対策
- 航空機、港湾、環境・次世代エネルギー、先端医療等、ものづくり県の更なる進展
- 大型放熱光施設「Spring-8」や八ヶ岳コン「京」など世界に誇る先端科学技術基盤の活用
- 多文化共生としてのグローバル性の活用
- 進取の気性に富み多彩な兵庫人の育成
- 平成の御食国（食の宝庫）の確立

3 二地域居住等県内での交流が進み国内外からの来訪者がふれる兵庫

- ・二地域居住の優秀や交流人口により豊山特地域を持続
- ・国内外を往来する人・情報・もの・資金の創発・発信拠点に
- ・五国ならではのオンライン・ワーカーの魅力が国内外の人々を呼び込む。
- ・世界の課題解決に貢献する人材の交流

4 一人ひとりがその持てる力を最大限に發揮でき、社会を支える主人公となる兵庫

- ・ふるさと意識を持つ人の底があり
- ・さしつかえなく支え合う安全・元気なふるさとづくり
- ・一人ひとりが能力を発揮でき得意分野に応じて役割を持つ
- ・様々な“縁”によるつながりの広がり
- ・様々な“縁”によるつながりの広がり
- ・誰もが柔軟な働き方が選べ、チャレンジでき、起業家になれる
- ・子育てを楽しむ子どもたちがひの健やかに育つ

5 世界経済をリードする基幹産業と地域に根ざした地域産業が県内全域で展開される兵庫

- ・高成長が見込まれる海外諸国との連携で経済活力を呼び込む
- ・兵庫ならではの先端産業が世界で活躍
- ・地域産業が高い技術やブランド力で地域経済を活性化
- ・農林水産業が発展し、兵庫が平成の御食国として人気を博する
- ・小規模産業が広がり地域の生活を支える

2020年の目標

【人口対策(自然増対策)】

- 出生数：2015-2019年度で22万人（4.4万人/年）の維持

【人口対策(社会増対策)】

- 人口流入増加（流出抑制）数：5年間（2015-2019年度）で25,700人（若者のしごと創出：22,500人、アドバイス層の転入：1,200人）

多様な地域特性

| 区分 | 地域特性 | 重点的な取組方向 |
|---------------|---------------------------------|---|
| 大都市圏 | 瀬戸内臨海部に位置する日本有数の都市圏 | ・大都市の魅力の更なる向上 ・次世代産業の育成 ・都市ブランドの構築 |
| 大都市に連坦する準大都市圏 | 大都市に近接し、都市機能と豊かな自然を併せ持つ地方都市圏 | ・拠点都市機能の向上 ・ものづくりの拠点 ・都市の拠点の再生 |
| 単独で成立する地方都市圏 | 多自然地域の魅力を有し、地域の核となる都市部を有した地方都市圏 | ・多自然地域との連携都市 ・地域産業の再活性化 ・拠点都市機能の強化 ・交渉と連携でつなぐ ・多自然地域の創造 ・農林水産業の成長産業化 ・集落のセラフェルの確保 |
| 多自然地域圏 | 豊かな自然環境に恵まれ、多彩な農林水産業が営まれる地域 | |

2020年まで(2015-2019年度)の対策、実効性の確保等

対策

※ 9つの基本目標と70の施策を設定

※ 全県対策に加え、地域別（県民局・県民センターごと）の対策を設定

人口対策(自然増対策・社会増対策)

地域の元気づくり

- ① 多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する
- ② 地域に根ざした産業を振興する
- ③ 人や企業・資本が流れる兵庫をつくる
- ④ 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる
- ⑤ 兵庫の産業競争力を強化する
- ⑥ 健康長寿社会をつくる
- ⑦ 住みたい地域をつくる
- ⑧ まちの賑わいを創出する
- ⑨ 県土空間の安全・安心を高める

実効性の確保等

戦略の施策を着実に推進するとともに、効果を検証し不斬の見直しを行うため、PDCAサイクルによる進行管理を実施。検証の客観性を担保し、効果的に戦略を推進するため、以下の取組を行なう。

【検証体制(構築)】

○ 産学官民の有識者による「兵庫県地域創生戦略会議」で専門的見地から意見を聴取

○ 議会に対し、毎年度、前年度の戦略の実施状況を報告

【2020年の目標の設定】

○ 戦略の進歩状況を図る定量的な指標として、人口対策・地域の元気づくりの2020年目標を設定

【アクション・プランの策定】

○ 戦略の下に、具体的な事業・重要な業績評価指標(KPI)を盛り込んだアクション・プランを策定

1 当面5年間（2015～2019年度）の施策体系【参考】

人口対策

「自然増」対策

～将来への希望がない、
子どもを産み、育てやすい兵庫～

基本目標1：多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する

（1）多子型の出産・子育てが可能な環境づくり

- ①若者の出会い・結婚のきっかけづくり
 - ・結婚・子育て等のライフプランに関する教育や情報提供
 - ・ひょうご出会い系サポートセンター事業など男女の出会いの機会の創出
- ②妊娠・出産の不安解消
 - ・妊娠や不妊・不育に対する不安解消、相談体制の充実
 - ・周産期医療、小児医療の充実
- ③就学前の教育・保育への支援
 - ・認定こども園の整備など保育環境の充実（待機児童ゼロ）
 - ・病児・病後児保育の拡充
 - ・子育てに係る医療費、保育料の軽減
- ④子育て家庭を支える社会づくり
 - ・多様なチャネルを通じた子育て相談
 - ・まちの子育てひろば、子どもの冒険ひろばなど親子の居場所づくり
 - ・放課後児童クラブの推進
 - ・学校地域連携の推進
 - ・県営住宅を活用した三世代近居の推進
 - ・里親の登録拡大と支援

（2）将来への希望や生きがいを持つ多様な働き方の創出

- ①仕事と育児の両立支援
 - ・ひょうご仕事と生活センターと連携したワーク・ライフ・バランスの推進
 - ・男性の育児・家事への参加促進
 - ・女性登用に取り組む企業への支援など子育て支援企業等の拡大
- ②若者の雇用の安定化
 - ・就職前の就業体験による職場定着の支援
 - ・ひょうご応援企業をはじめ、若者と企業のマッチング促進
 - ・ニート等の就労支援の推進
 - ・若者が起業や再チャレンジしやすい仕組みづくり

「社会増」対策

～人が交流し、人が集まり、
人が定着する兵庫～

基本目標2：地域に根ざした産業を振興する

（1）地域における農林水産業の振興

- ①農林水産業を担う人材・経営体の育成
 - ・技術研修・指導等による新規就業者の育成
 - ・多様な経営体（個別経営体・法人経営体等）の育成
 - ・集落営農組織等の法人化や企業参入を促進し、新規就業者の雇用を創出
 - ・施設等の貸与制度の充実
- ②農林水産業の経営基盤の強化
 - ・農地中間管理事業の推進による担い手への農地の利用集積の促進
 - ・機械化や新技术等の活用による省力化
 - ・但馬牛の繁殖肥育一貫経営の強化
 - ・伐採の低コスト化等による木材の安定供給の促進
 - ・大規模な海底耕耘等による漁場再生

（2）地域における商工業の振興

[分野別取組]

- ①全国有数の地場産業の振興
 - ・地場産業の国内外への販路拡大、ブランド力強化（全国1位：灘の酒、ケンカヅチ、皮革、手延素麺、豊岡の鞆、釣針、線香など）
 - ・デザ付-とタイアップした新製品開発、マーケット対応力強化
 - ・ひょうご天然皮革のブランド化推進

②地域商業・商店街の活性化

- ・まちの再整備を活用した商店街の再編による賑わいづくり
- ・商店街の元気づくりや個店対策（空き店舗再生、事業継続）への支援

③生活充実関連サービス産業等の振興

- ・先導的・モデル的なサービス産業のマーケット拡大支援
- ・ファッション、食・スイーツ、健康・スポーツ、家事、育児、介護サービス等の立ち上げ支援
- ・IT関連事業所など事業所向けサービス業の拡大

[横断的取組]

- ①起業・創業の拡大
 - ・多様な主体（若者、女性、UJIターン者等）による起業の促進
 - ・創業立ち上げから成長までの一貫支援（ビジネスプラン構築や販路拡大等のマーケティング支援）
 - ・起業できる創造性豊かな人材の育成

②地域で頑張る企業の成長支援

- ・中小企業・小規模事業者の経営革新や設備投資への支援
- ・デザイン、流通・販売等の幅広い分野における異業種交流の活性化による新製品・新技術開発の促進
- ・「ふるさと投資」を活用したビジネスプランの発掘・成長支援

(3) 地域における観光・ツーリズムの振興

①農・食・健康関連産業と結びついたツーリズムの展開

- ・体験農業・漁業など都市と農山漁村との交流
- ・食農ツーリズムの推進
- ・「五つ星ひょうご」など県産品の開発・販路拡大

②ひょうご五国の地域資源を活かしたツーリズムの展開

- ・兵庫ならではの資源（世界遺産姫路城、山陰海岸ジオパーク、鳴門のうず潮、阪神・淡路大震災からの復興、コトブキの野生復帰等）、産業施設・遺産（鉱石の道等）、文化・伝統行事（デカンショ節等）を活用した滞在・体験型のツーリズムの推進
- ・広域観光周遊ルートの形成促進
- ・あいたい兵庫キャバーンの展開
- ・古民家や未利用資産などリバーション宿泊施設の整備・活用の検討

③海外からの誘客促進

- ・外国人観光客の受入基盤整備（Wi-Fi環境の整備、免税店の拡大等）
- ・外国人の生活習慣にあわせた受入体制の整備（外国人観光客等の受入れ対応）
- ・効果的な海外行銷戦略
- ・広域連携（関西広域連合、瀬戸内ブランド推進連合等）でのインバウンド誘客の促進

④「ひょうごファン」を増やす観光人材の育成

- ・観光ボランティアガイドの資質向上
- ・ツーリズム関連産業に従事する人材のおもてなし気運醸成と資質の向上
- ・教育機関と連携した若年層のツーリズム人材養成

(4) 地域における健康・福祉の推進

①地域特性に応じた福祉・介護施設の整備促進

- ・特養、老健施設等の計画的整備

②福祉・介護人材の育成

- ・福祉人材のマッチング、職員のキャリアアップ支援、現場の待遇改善

基本目標3：人や企業・資本が流入する兵庫をつくる

(1) 人や企業・資本の流入促進

①兵庫で活躍する人材の誘致

- ・若者等のUJIターンの促進（県外大学生のUJIターン促進、ふるさと起業・再就職支援等）
- ・海外からの高度人材（研究者・技術者・経営者層等）の誘致
- ・国内外での情報発信の強化

②企業の立地・投資の促進

- ・県内外企業の立地促進、既存企業の県内拠点での事業拡大への支援
- ・兵庫ゆかりの企業への働きかけ
- ・市街化調整区域での既存工場の継続等を支援する開発許可制度の運用の弾力化
- ・IT関連企業等の立地促進
- ・グローバル企業（外国・外資系企業等）の立地促進

③競争力ある産業の創出による人・企業の流入促進

- ・次世代産業（航空機等）のサプライチェーンを構成する中小企業等への支援
- ・産学官連携プロジェクトの推進
- ・中小企業における中核的技術者の確保

(2) 人や企業が流入する基盤づくり

①便利で快適な公共交通の実現

- ・路線バスやコミュニティバスの運行支援など生活交通バスの維持・確保
- ・地域の移動手段となる鉄道網の維持への支援

②ICTインフラの整備

- ・Wi-Fi環境や超高速プロードバンドなど高度情報通信基盤の確保

③地域からのエネルギー源の確保

- ・地域に応じたエネルギーの確保
- ・低廉で安定した電力量の確保

基本目標4：個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる

(1) 地域活力の再生

①地域再生大作戦の展開による多自然地域の再生

- ・「地域再生大作戦」の展開による地域の自主的・主体的な取組支援、地域再生の促進
- ・ふるさとづくりに関わる活動状況の情報発信等

②移住・定着の促進

- ・しごと・住まい・出会い・食・観光等の移住に関する総合的情報発信拠点の整備
- ・空き家・県営住宅の活用やお試し居住施設の紹介による移住・定着促進
- ・大都市から多自然地域まで多様な地域特性を有する兵庫ならではの暮らし方の提案（楽農生活、定年就農、都市部・多自然地域の二地域居住等）
- ・兵庫で県民が夢を描き、挑戦し、実現することを支援する取組の推進

③兵庫へのふるさと意識の醸成、ふるさと兵庫を支える人材の育成

- ・トライアゴン・ウイーク、自然学校など体系的な兵庫型教育等によるふるさと意識の醸成、将来の兵庫を支える人材の育成
- ・暮らしの中で体験できる多彩なふるさとづくりや交流の機会の創出など、県民のふるさとづくりへの参画
- ・地域で育まってきた祭りや伝統行事、郷土芸能など、住民の心と地域を結ぶ地域文化の振興
- ・兵庫に縁のある県外在住者が第2・第3のふるさととして兵庫に継続的に関わる仕組の構築

地域の元気づくり －東京一極集中のはじめ－

～活力と安心に満ち、暮らしやすい兵庫～

基本目標 5：兵庫の産業競争力を強化する

(1) 兵庫の強みを活かした産業力・技術力の強化

- ①スマート「京」等の先端科学技術基盤の活用による新産業の創出
 - ・スマート「京」、SPring-8 等科学技術基盤の産業利用促進
- ②次世代産業（航空機、スマート、環境・次世代エネルギー、先端医療等）の創出
 - ・次世代産業（航空機等）のサプライチェーンを構成する中小企業等への支援
 - ・医療とものづくり産業を結ぶ医・産・学連携拠点の形成
 - ・神戸医療産業都市のポートショル、国家戦略特区の特例を活用した先端医療関連の事業化支援
 - ・ICTを活用した健康ビジネスの創出
 - ・兵庫県 COE プログラムにおける次世代産業の重点支援
 - ・新産業創造研究機構（NIIRO）、研究開発を支援するベンチャーキャピタルなど阪神・淡路大震災からの産業復興の枠組みの有効活用
 - ・水素エネルギーの拡大

(2) 世界に飛躍する兵庫の中小企業（オンライン企業）の創出

- ①技術力の強化等による中小企業の成長・育成
 - ・工業技術センターの産官学連携プロジェクト等による技術力の強化・高度化
 - ・新たなものづくり手法（デジタル・エンジニアリング等）の導入支援
 - ・新事業展開や設備投資等への金融支援

(3) 兵庫の人・企業の世界化の推進

- ①次世代産業の世界拠点化と本県企業の国際展開の促進
 - ・アジア新興国、アフリカなど成長する世界市場を取り込む企業の海外展開支援と経済連携の強化
 - ・外国人留学生の活躍支援
 - ・次世代産業（医療、環境等）分野での国際的なリンクageの構築支援
 - ・ジェトロ、JICA等と連携した海外事業展開
 - ・地場産品、農林水産物等の海外への販路拡大
- ②国際性豊かなビジネス・生活環境を活かした企業・人材の誘致
 - ・グローバル企業（外国・外資系企業等）の立地促進
 - ・海外からの高度人材（研究者・技術者・経営者層等）の誘致

(4) 食の宝庫「御食国ひょうご」の強みを活かした農林水産業の展開

- ①大消費地に近接する立地を活かした農業（都市近郊農業）の展開
 - ・商品価値の高い農産物の产地づくりと経営規模拡大や複合経営の促進
 - ・水稻から野菜・果樹栽培への転換
- ②農業の競争力強化に向けた生産基盤の整備と保全
 - ・大区画化等生産コスト低減に向けた圃場整備と再整備
 - ・野菜への転換を促進する田畠輪換の促進
- ③神戸ビーフをはじめとする高品質な畜産物の生産力強化
 - ・但馬牛繁殖雌牛の増頭対策、肥育農家への支援等による神戸ビーフの供給力の強化
 - ・施設機械の整備推進、飼養管理技術の向上等による高品質で特長ある県産畜産物の生産支援
- ④新たな木材需要の開拓と持続的林業経営を担う高度人材の育成
 - ・CLT や兵庫県が開発した技術（Tajima TAPOS）の活用による木材利用の促進
 - ・木質バイオマス発電向け木材利用の拡大
 - ・新たな育成機関の整備、研修制度の充実等による高度な技術を有する人材の育成
- ⑤需要に対応できる魅力ある水産業の展開
 - ・一粒丸、ウニ、アワビ等の複合養殖経営の促進
 - ・ズワイガニ等仲合底びき網漁業の促進
- ⑥ブランド戦略としての「兵庫の食文化」の国内外への発信
 - ・兵庫県認証食品の生産・新たな流通拡大
 - ・神戸ビーフ、淡路島たまねぎ、丹波黒大豆等の評価の高い農畜産物の輸出拡大
 - ・レバビの開発と併せた兵庫の食文化の海外輸出

(5) 地域や産業を支える人材力の充実

- ①次代を担う人材の育成
 - ・職業教育の充実、工業・農業拠点校での技能・技術の習得
 - ・県立公共職業能力訓練校における中小企業の中核的技術者の育成
 - ・兵庫県立大学等の地域・企業ニーズに即した人材養成機能の強化

基本目標 6：健康長寿社会をつくる

(1) 一人ひとりが生き生きと暮らせる健康長寿社会づくり

- ①健康寿命をのばす健康づくり対策の推進
 - ・がん検診等の受診促進
 - ・企業と連携した健康づくりの取組の拡大
 - ・ごはん、大豆、減塩による食の健康運動の推進
- ②地域医療対策の推進
 - ・医療圏域ごとの体制の充実・連携、地域医療人材の養成、確保

(2) 高齢者等誰もが安心して暮らせる地域社会づくり

①高齢者が安心して住める生活環境の整備

- ・在宅要介護者に対する24時間体制の定期巡回・随時対応サービス
- ・地域ボート型特養等を活用した兵庫独自の地域（在宅・施設）における介護・見守りの体制整備
- ・高住、グループハウスなど要介護度等に応じた多様な高齢者住宅の整備促進

②認知症の人も安心して暮らせる地域社会づくりの推進

- ・容態の変化に応じた医療・介護の切れ目ない連携
- ・認知症への理解と対応に努める金融機関やスーパー等の拡大

③元気高齢者の社会参加、生きがいづくり・能力発揮の支援

- ・高齢者の社会参加の促進、就労の支援

④ユニバーサル社会づくりの推進

- ・高齢者・障害者の社会参加の促進
- ・まちなか・公共交通機関・住宅等のバリアフリー化

⑤障害者の就業、社会参加の推進

- ・一般就労の拡大・福祉的就労の充実
- ・地域生活への移行支援

基本目標7：住みたい地域をつくる

(1) 安心で豊かな暮らしの質の向上

①高度で多彩な兵庫の教育の充実

- ・小学校5・6年生での「兵庫型教科担任制」など小中学生の学力の向上、教育内容の特色化、外国語教育の充実によるグローバル化への対応
- ・私立学校教育の充実、県内大学と産業界との連携による機能強化

②県立芸術文化センター等を核とした芸術文化の振興

- ・美術館、博物館など兵庫に立地する多彩な芸術文化基盤を活かし、住民が質の高い芸術文化を感じられる地域づくり

③東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスターーズゲームズ2021等を見据えたスポーツの振興

- ・トップレベルの競技スポーツや世代間交流を促す生涯スポーツ、障害者スポーツの振興

④体感治安の向上

- ・自主防犯活動の拡大、地域の見守りの向上

⑤快適なまちなみ空間の形成

- ・県民緑税を活用したまちなみ緑化の支援
- ・良好なまちなみ景観の形成

⑥多文化共生社会の実現

- ・外国人の教育・住環境整備による国際性豊かな地域づくり

(2) 豊かな環境の保全と創造

①自然再生の推進

- ・豊かな森・海の再生、有害鳥獣対策

②低炭素な地域づくり

- ・温室効果ガス排出抑制の促進
- ・再生可能エネルギーの導入促進

地域別戦略

基本目標8：まちの賑わいを創出する

(1) 活力あるまちづくり

- ①都市機能を高める“ひょうご都市ブランド”づくりの推進
 - ・神戸等の都心機能の強化に資する市街地整備の推進
 - ・自転車を活用したまちづくり

②ニュータウンの再生

- ・明舞団地の再生など郊外型住宅団地の再生モデルの形成
- ・オールドニュータウン等の再生による地域活力の向上

③地方都市における拠点の形成

- ・歴史的・文化的資源の活用
- ・市街化調整区域における地域拠点の形成

④ネットワークの強化による交流の促進

- ・路線バスや地域の移動手段となる鉄道の維持

⑤地域特性を活かした都市計画の推進

- ・都市計画区域マップの見直し

(2) 地域の資源を活かした取組の推進

①都市公園の利用促進

- ・地域の核となる都市公園の整備・管理の推進

②未利用資源等の有効活用

- ・空き家・空き地の有効活用
- ・公共施設・公的不動産の活用促進

基本目標9：県土空間の安全・安心を高める

(1) 防災・減災対策の総合的推進

～日本一安全な兵庫を創る～

- ①南海トラフ巨大地震等に備えた防災・減災の取組の着実な実施

- ・津波防災インフラ整備、住宅・建築物等の耐震化

②山地防災・土砂災害対策5箇年計画等に基づく

土砂災害・風水害対策の計画的実施

- ・山地防災・土砂災害対策の推進、災害に強い森づくり
- ・総合治水の推進

③地域自らで地域を守る地域防災力の向上

- ・自主防災活動の拡大、災害時要援護者対策の推進

④阪神・淡路大震災の経験・教訓の継承、発信

- ・県民参加による震災の経験・教訓の継承、発信
- ・国際防災関係機関の支援、防災人材の育成

(2) 県土を支える基盤の充実

①社会インフラの老朽化対策の推進

- ・橋梁・トンネル・港湾施設等の老朽化対策の推進

②基幹道路ネットワーク等の整備推進

- ・高規格幹線道路等の整備推進

③港湾の機能強化・利用促進

- ・阪神港等への集荷・モーダルシフトの促進

④空港の有効活用・利便性向上

- ・関西・大阪・神戸空港、但馬空港の利用促進

県民局・県民センターごとの地域特性に応じた
「県民局・県民センター地域戦略」